

ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年1月分）

〔殺傷事件関連〕

1月1日〔家庭内暴力事件〕 午後7時30分頃、ベリーズ郡レディビル村において、内縁の妻らに対して暴行する事件が発生した。警察によると、男性が自分の義理の息子に対してペレット銃（空気銃）を撃つなどして暴行を加えた。見かねた内縁の妻が携帯電話で警察へ通報しようとしたところ、男性は携帯電話を取り上げ壊し、内縁の妻と激しい口論となり突き飛ばしてけがをさせた。その後、内縁の妻は息子の携帯電話で警察へ通報し、駆けつけた警察官により、男性はその場で逮捕、拘束された。

1月8日〔刺殺事件〕 午前9時頃、スタンクリーク郡ホプキンス村において、口論の末に相手を刺殺する事件が発生した。警察によると、被害男性Aは自分が着ていた上着を女性に貸したところ、別の男性B（容疑者）がその上着を着ていたことをきっかけに口論となり、男性Bは男性Aを刃物で刺し殺した。その後、駆けつけた警察官により男性Bは逮捕、拘束された。

1月9日〔銃撃事件〕 午後4時頃、ベリーズ市セメタリー通り付近のアマンダ・ドライブにおいて、銃撃事件が発生し、男性1名が死亡した。警察によると、被害男性が運転していた車両に不審な男性2名が乗ったバイクが近づき、被害男性の運転する車両に銃撃した。12発以上の銃弾を発砲し、被弾した車両はそのまま近くのフェンスへ衝突した。その後、通報を受けた警察官が現場へ駆けつけ、車内を確認したところ、動かなくなった被害男性を発見した。警察は、この事件をギャング組織同士の抗争の可能性があると見て、捜査を続けている。

1月13日〔刺傷事件〕 午後3時30分頃、ベルモパン市において、男子高校生（17歳）が背中を切りつけられる事件が発生した。警察によると、被害生徒と同級生は授業を終え、同市内のリング・ロードを歩いていたところ、精神に障害のあるホームレス男性が近づいて金銭を要求してきた。被害生徒は要求を断り、男性のひどい体臭について注意すると、男性は被害生徒を罵った。驚いた生徒は反射的に男性の顔を殴り、その場から離れようとしたが、男性はカッターナイフを懐から取り出し被害青年を切りつけ、背中に約30センチの切り傷を負わせた。その後、男性は駆けつけた警察官に逮捕拘束され、被害者は西部地域病院へ救急搬送された。なお、この加害男性は地元でも有名な年配のホームレスで、市内のブローディーズ（スーパーマーケット）周辺で物乞いしているのを見かけられていた。

1月19日〔国防軍の隊員間でけんか殺人事件（当館注目）〕 午後9時30分頃、トレド郡

クリーク・サルコ村の哨戒基地において、隊員間での銃撃事件が発生し、国防軍の隊員1名が死亡、2名が負傷した。国防・国境警備省によると、哨戒基地のバルコニーで話していた隊員同士の間で口論となり、支給された軍用ライフルで被害隊員を複数回銃撃し、射殺した。この際、近くにいた他2名の隊員にけがを負わせた。現場からは、空の薬莢8個と実弾1発が回収された。負傷した他2名の隊員は、プンタゴルダ病院へ救急搬送され治療を受け、容態は安定している。

1月20日【銃撃事件】 午後6時頃、ベリーズ郡クルックド・ツリー村とフィリップ・ゴールドソン・ハイウェイが通る交差点付近で男性（37歳）と女性（40歳）が銃撃される事件が発生した。警察によると、他の車両の運転手が被害男性と内縁の妻である被害女性が乗った車両が交差点付近に不自然に駐車しているのを見かけ、車内を確認したところ銃撃を受け、死亡している男女を発見した。その後の捜査で、村の牧師の息子と共犯の男性が容疑者として逮捕拘留されており、金銭目的で銃撃したと供述している。

1月24日【銃撃事件】 午後10時30分頃、コロザル郡カルカッタ村のアドベンチスト教会付近で銃撃事件が発生した。警察によると、不審男性が教会付近で突然、所持していた銃を発砲し、付近にいた住民と思われる2名が負傷した。この2名は、コロザル地域病院へ救急搬送された。発砲した不審男性は捕まっておらず、警察は無差別的な発砲、地元ギャング同士の抗争の両面から捜査を続けている。

1月25日【銃撃死亡事件】 午後10時頃、ベリーズ市のセントラル・アメリカン・ブルーバードの住宅街で男性（24歳）と女性（33歳）が銃撃され死傷する事件が発生した。警察によると、近隣住民から銃声がするとの通報を受け、警察と救急隊が現場へ駆け付けたところ、付近の排水溝に体が半分浸かった状態の被害男性を発見し、救急隊により死亡が確認された。その付近で複数の銃撃を受けた被害女性を発見し、KHM病院へ救急搬送されたが、意識がなく危篤状態だという。その後の捜査で事件当日の夜は、住民らが路上に集まり楽しく歓談していたところ、住民同士で口論に発展、そのままエスカレートした結果、発砲に至った。

1月31日【銃撃死亡事件】 午後7時30分頃、カヨ郡コットンツリー村において、男性（30歳）が銃撃されて死亡する事件が発生した。警察によると、この村に住む被害男性が自宅のベランダで過ごしていたところ、突然現れた不審人物に複数銃撃された。銃撃犯はそのまま逃走し、銃声を聞いた被害女性の妻が警察へ通報した。駆け付けた警察官がベランダに出ると、意識の無い状態で倒れている被害男性を発見した。その後、西部地域病院へ救急搬送されたが、被害男性の死亡が確認された。警察は、近隣住民へ注意喚起すると共に、事件への情報提供を求めている。

1月31日[サッカー試合会場での銃撃死傷事件(当館注目)] 午後7時30分頃、ベリーズ市のマリオン・ジョーンズ・スタジアムにおいて、ギャングによる銃撃事件が発生した。警察によると、ベリーズ郡サッカー協会主催のアマチュアトーナメントの準決勝中に、スタジアム内に複数の発砲音がし、会場はパニックとなった。会場内に配置されていた警察官が銃声のした方向へ駆けつけると、地元ギャング組織のリーダーである男性(37歳)が死亡しているのを発見した。警察の調査によると、試合を観戦していたギャング構成員が他グループの構成員とけんかとなり、仲裁に入ったリーダーの男性が射殺された。引き続き警察は、銃撃犯の行方を追っている。

[強盗事件関連]

1月5日[強盗事件(当館注目)] 午後6時頃、ベリーズ市のリージェント通りにおいて強盗事件が発生した。警察によると、ウルグアイから観光旅行でベリーズを訪れていた女性2名が、セント・ジョン・ザ・バプティスト大聖堂を見学し、裏通りを歩いていたときに不審男性2名が近づき、女性らが所持していたハンドバック等を強奪した。被害総額は2,230 BZ\$ (約17万円)だった。警察が捜査した結果、容疑者とみられる男性2名を逮捕、拘束した。

1月11日[警察官による窃盗事件] 午前8時30分頃、ベリーズ市マカボニー通りにあるブロック工場の金庫から、警備として配置されていた警察官の男性(52歳)が現金を盗む事件が発生した。警察によると、店主である女性が室内へ入ったときに、警察官が金庫の前へ不自然に立っていた。店主の女性はこれを不審に思い、のちに防犯カメラ画像を確認したところ、警察官が金庫内を物色し、現金550 BZ\$ (約4万円)を自分のポケットの中へねじ込む様子が映っていた。女性店主は、すぐさま警察へ通報し、この警察官は停職処分となった。しかし、停職期間中、この警察官は給与を全額受取れるとの処分内容であったことに、市民からは警察庁に対して批判の声が相次いでいる。

1月12日[車上荒らし・暴行事件] 午前1時頃、ベリーズ市ニュータウン・バラックス付近のプリセス通りにおいて、男性が車上荒らし及び暴行の被害に遭った。警察によると、被害男性と交際相手の女性はプリンセスホテル&カジノを出て、プリンセス通り付近に駐車させていた自分たちの車へ戻ったところ、不審男性2名が車内を物色していた。不審男性の1人が銃で被害男性を脅したため、被害男性はその場から離れ、警察へ通報しようとした。不審男性は銃で被害男性の左側頭部を殴り、200 BZ\$ (約1万5千円)相当の携帯電話を破壊した。その後、別の通報を受けて駆けつけた警察官により不審男性らは逮捕、拘束さ

れた。

1月22日[ボートのエンジン窃盗事件] 午前1時30分頃、ベリーズ郡レディビル村のエアーズ・マリーナにおいて、停泊中のボートからエンジンが盗まれる事件が発生した。警察によると、エアーズ・マリーナのオーナーから窃盗被害に遭った旨の通報があり、駆けつけた警察官と監視カメラの映像を確認したところ、不審男性2名がボートからエンジンとガソリントankを取り外し、ベルカン橋方面へ逃走する様子が映っていた。今回の被害総額は約10,800BZ\$（約83万円）で、警察は近隣住民に対し窃盗被害に遭わないように注意喚起すると共に、事件への情報提供を呼びかけている。

1月22日[国防軍新兵による強盗未遂事件] 午前10時頃、トレド郡ブンタゴルダ町においてベリーズ国防軍の男性新兵（19歳）が関与する強盗事件が発生した。警察によると、町の商店へ覆面をした不審男性2名が店内に入り、その内の1名が38口径のけん銃を所持していた。強盗犯らは、店の金庫を開けるよう店員の顔面を殴打したが、店員は抵抗して金庫を開けなかった。この隙に店員の同僚が警察へ通報し、駆け付けた警察官により襲撃犯らは逮捕された。その後の取り調べで、襲撃犯のうち、けん銃を所持していたのはベリーズ国防軍の新兵であったことが判明した。

1月23日[窃盗事件] 午前5時頃、ベリーズ郡レディビル村のエグバート・キルター通りにおいて、窃盗事件が発生した。警察によると、被害女性（21歳）が住んでいる高床式木造住宅から携帯電話、8インチタブレット、自転車が盗まれ、被害総額は1,095BZ\$（約8万4千円）だった。被害女性は、窃盗犯がどのようにして自宅へ侵入したかわからないと述べており、警察は近隣住民に対して窃盗被害に遭わないよう注意喚起すると共に、事件の情報提供を求めている。

1月27日[強盗犯との銃撃事件] 正午頃、ベリーズ郡サンドヒル村において、強盗犯と住民による銃撃事件が発生した。警察によると、この村に住む被害女性から自宅に強盗犯が侵入したと連絡を受けた隣人が家屋を調べたところ、裏口から2名の強盗犯が屋外へと飛び出した。強盗犯の1人が隣人に対し発砲してきたため、隣人も所持していた銃（許可証あり）で応戦した。強盗犯らは敷地の裏の茂みへ飛び込み、そのまま逃走した。その後、駆け付けた警察官は侵入された家屋と周辺の被害状況を確認し、逃走した犯人らの行方を追っている。

1月27日[侵入窃盗事件] 午後4時頃、ベリーズ市のニューロード通り沿いにある住宅において、侵入窃盗事件が発生した。警察によると窃盗犯は、住宅の側面にあるビーバーボード（木の繊維から作られた軽量で頑丈な建材用の板）をこじ開けて2階建ての木造住宅へ

侵入した。窃盗犯は、家屋内にあった衣類やブランド物のバックを大量に盗み、被害総額は 890BZ\$（約6万8千円）と見られている。警察は、近隣住民へ窃盗被害に遭わないように注意喚起すると共に、事件に関する情報提供を求めている。

[違法薬物、違法銃器等関連]

1月4日[大麻所持] ベリーズ市マルシアナ・フエンテス通りにおいて、大麻を所持していた女性（33歳）とボーイフレンドの男性（33歳）が逮捕された。警察によると、パトロール中に誕生日パーティーが行われていた女性宅の前を通りかかった際、大麻の入ったボトルを発見し女性と男性をその場で逮捕、拘束した。取り調べの結果、大麻は男性から女性に誕生日プレゼントとして贈られたものだった。2人は、共同で起訴され、有罪判決となっている。

1月9日[銃器類の違法所持] 午後3時頃、ベリーズ市のクイーン・シャーロット通りにある税関局において、銃器類の違法所持の疑いがあるとして男性（53歳）と女性（55歳）が逮捕された。警察によると、税関局からの通報を受け、パトロール中の警察官が税関局へ到着すると、6つの樽と大きな木箱を引き取りにきた男性が税関職員と揉めていた。税関職員の検査品により、樽と木箱の中から銃器類の部品が大量に見つかっていたため、警察はその場で男性を逮捕、拘束した。その後、樽と木箱がベリーズ郡ガーデニア村に住む女性宛だったことから、警察はこの女性も逮捕している。

1月11日[密売目的でクラック・コカイン所持] ベリーズ市アンテロープ・ストリート・エクステンションに住む建設作業員の男性（33歳）と、食品販売員の女性（23歳）がクラック・コカインを密売目的で所持していたとして逮捕された。警察によると、匿名の通報により警察官が男性宅を家宅捜査したところ、寝室から0.15グラムのクラック・コカインを発見した。その後、交際相手である女性宅を捜査したところ、7.6グラムのクラック・コカインを発見した。二人は、密売目的で違法薬物を所持していた罪で逮捕。起訴された。

1月14日[銃器類違法所持及び密売目的で大麻所持] ベリーズ市のレストランにおいて、男性（50歳）が許可証のない銃器類の所持、密売目的で大麻を所持していた罪で逮捕された。警察によると、同レストランから発砲があったと近隣住民からの通報を受けた。その後、警察官が店内を強制的に捜査した結果、店の冷蔵庫の中からけん銃と8発の弾薬、乾燥大麻を発見した。男性は罪を認めており、後日行われた裁判で有罪判決を受け、懲役1年の刑が科せられた。

1月16日【密売目的で大麻所持】 ベリーズ市モパン通り出身の男性（19歳）が違法薬物密売の疑いで逮捕された。警察によると、男性は自宅付近で乾燥大麻を所持しているのを警察官が発見し、取り調べを行ったところ、270グラムの乾燥大麻を所持していた。警察官はその場で男性を逮捕、起訴された。その後、男性は有罪判決を受け、1,800BZ\$（約14万円）の罰金刑を言いわたされた。期日までに罰金を納められない場合、5ヶ月から1年の懲役刑が科せられる。

1月17日【密売目的で大麻所持】 ベリーズ市レイク・インディペンデンス地区の住宅から、密売目的の大麻草が大量に発見された。警察によると、匿名の通報を受けた警察が市内の住宅を捜索したところ「ゴリラ・ブルー」という銘柄の大麻草、約2キログラムを発見した。家主の男性（42歳）は、大麻草は息子（16歳）が所持していたと延べ、警察は行方をくらました家主の息子を逮捕、起訴するため捜査を続けている。

1月24日【違法薬物及び銃器類の摘発】 午前9時頃から、コロザル町の住宅地で警察の麻薬捜査部隊が家宅捜索を行った。捜査関係者によると、住宅地の民家に大量の違法薬物が隠されているとの通報を受けた捜査部隊が家宅捜索を行ったところ、戸棚の下に隠し部屋の入口を発見した。隠し部屋の中へ入ると、推定20キログラムの乾燥大麻とクラック・コカインの他、22口径の弾薬が見つかった。この捜査により、警察は容疑者と思われる住民3名を逮捕拘束した。

1月29日【違法銃器類の摘発】 午前11時30分頃、ベリーズ市のフリーダム通りにおいて、警察による家宅捜査が行われた。捜査関係者によると、違法に銃器類を所持している可能性があるとの通報を受けた警察が家宅捜索を行ったところ、ユニットバスのトイレタシから届け出のない黒色と銀色の2丁のけん銃が見つかった。警察は、この家に住む住民3名を、違法にけん銃を所持していた容疑で逮捕拘束した。

1月29日【大麻草を拾得】 午前10時頃、ベリーズ市の路上において、所有者不明の大麻草が拾得された。警察によると、近隣住民から大麻かもしれない葉っぱの入った袋が捨てられているとの通報を受け、警察官が現場へ急行した。現場へ到着した警察官は、路上に駐車してあった所有者不明のぼろぼろの黒い車両内を調べたところ、約1キログラムの大麻草が入ったビニール袋を発見した。警察は、この大麻草を拾得物として押収し、警察署へ持ち帰った。警察は、なぜ大麻草が捨てられていたのか捜査を続けている。

1月31日【密売目的で違法薬物を所持】 午後6時30分頃、カヨ郡コットンツリー村において、他人に供給する目的で違法薬物を所持していたとして、男女2名が逮捕された。警

察によると、かねてより捜査していた容疑者の家宅捜査をしたところ、乾燥大麻764グラムとクラック・コカイン13グラムを発見した。警察は、この家に住む男性と内縁の妻を逮捕拘留した。また警察は、容疑者らが大規模な麻薬流通ネットワークの構成員である可能性があるとして、引き続き捜査を行っている。

[その他事件・事故関連]

1月10日[火炎瓶襲撃事件] 午前3時頃、スタンクリーク郡のホプキンス警察署において、火炎瓶が投げ込まれる事件が発生した。警察によると、1月8日に発生したホプキンス村での殺人事件の被害者家族が、殺人犯である男性が拘留されているホプキンス警察署の独房に向かって火炎瓶を投げ入れた。火炎瓶は独房内で爆発したが、殺人犯の男性に大きなけがはなく、その後、安全のためにダングリガ警察署へ移送された。

1月25日[上院副議長の車両へ銃撃(当館注目)] 午前8時頃、ベリーズ市ジャックフルーツ・クレセント地区に所在する、与党人民連合党(PUP)所属の上院副議長が所有する建物において、銃撃事件が発生した。警察によると、近隣住民から発砲音がしたと通報を受けた警察官が現地へ駆け付けたところ、建物敷地内に駐車していた副議長の車両に2発の弾痕を発見した。また、近辺を調べたところ、近隣の住宅からも弾痕が見つまっている。警察は、副議長を標的とした犯行または、無差別射撃による犯行の両面から捜査を続けている。